

一般質問



一般質問は、6月16日、17日、18日の3日間行われ、19人の議員が登壇しました。質問は、市政全般にわたり、活発な議論が展開されました。一般質問は、3面・4面・5面にも掲載されています。(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載)



自民・新政 高橋 文雄

秦野駅南部土地画整理事業の早期実現と、住民の了解はいかに

一 秦野駅南部(今泉)土地画整理事業について

問 昭和54年に都市計画決定された秦野駅南部土地画整理事業のうち、B地区(秦野駅南部(今泉)土地画事業)の移転補償費が昨年度未執行だった理由と、秦野市土地開発公社所有の代替用地が利用されていない理由はどのようなか。

答 B地区の移転補償費については、権利者に対し移転協力を要請しているが、交渉に多くの時間を要しており事業が遅れているためである。また、秦野市土地開発公社が所有する代替用地については、B地区内での用地の先行取得に当たり地権者と調整を行ったが、利用の希望はなかった。

要望 B地区の建物移転を進めるには、地元住民などに対し、細部まで寄り添った支援をしてほしい。

問 C地区は、都市計画決定を変更する方向で調整し、区画整理によらない方法での整備を進めるため県と協議中とのことだが、地元住民への説明はどのようなか。

答 関係機関と連携し、地域住民に対し、整備の方法などを十分に説明した上で、事業に取り組みたい。



諸課題解決に向けドローンの活用を



創和会 原 聡

ドローンの有効活用を進めるための体制整備を

一 本市におけるドローンの活用について

問 上・本町・南地区の農業委員からカラスの生息域拡大による影響で生活被害、農業被害の発生を懸念する声が上がっている。今後の対策として、赤外線カメラを搭載したドローンにより夜間や目視

からの捜索と併せてヘリコプターによる情報収集や捜索を実施しており、現状ではドローン活用の予定はないとのことである。

要望 シカ・イノシシ・カラス・スクミリンゴガイ(通称ジャンボタニシ)などの被害対策は生息域の山塊・水系から考えるべきで、神奈川県が目指す「かながわドク

答 カラスの活動範囲は隣接する市町村にも及ぶことから、かながわ鳥獣被害対策センターと連携し調査・研究していきたい。

問 ドローンを山岳救助に活用できる余地があると考えられているか。

答 救助隊の捜索活動は、地上からの捜索と併せてヘリコプターによる情報収集や捜索を実施しており、現状ではドローン活用の予定はないとのことである。

問 新型コロナウイルス対策について

答 ①事業者を伴走型で支援し、消費喚起策として現金循環の相乗効果を生む魅力ある支援策に取り組む。②国の支援策だけでなく、児童扶養手当現況届を提出する面談時に状況を見極め、現物支給なども視野に入れ検討したい。③児童・生徒の生活リズムの確立を支援するため生活習慣に関する要素を取り入れるよう検討する。

要望 オンライン学習に伴う通信費助成など、低所得家庭の学習環境を整える支援をしてほしい。



秦野駅南部土地画整理事業区域図 (B地区は赤色、C地区は黄色)



市民クラブ 大野 拓司

Society5.0に対応した行政運営を望む

一 Society5.0に対応した行政運営について

問 情報通信技術(ICT)の進化により、モノのインターネット(IoT)・ビッグデータ・人工知能(AI)などを活用することで、複雑な事柄の原因の解明や将来予測、最適な対策・計画の検討が可能になると考えられる。この

ようなデジタル化が進んだ未来の社会像としてSociety5.0が提唱されており、他市でもスマートシティを目指した取り組みが行われている。本市でも諸課題解決のツールとして、行政運営や政策決定にICTなどを活用すべきと考えられているか。

答 ICTなどの先端技術の活用は、民間部門のみならず、行政部門でも広がっていくと考えられることから、情報収集を図り、可能性を注視しながら検討を行う必要がある。本市においても費用対効果や、先端技術を活用できる職員の育成などの課題はあるものの、データ入力や定型の事務を自動で行う※RPAを試験導入して検証



公明党 横山むらさき

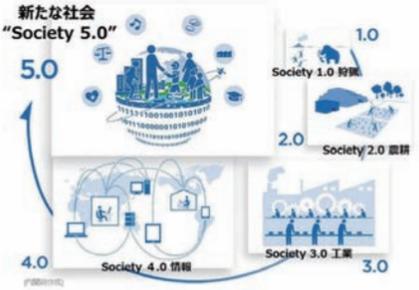
コロナ禍を乗り越える希望が持てる支援策を

一 新型コロナウイルス対策について

問 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、①世界恐慌以来の地域経済の急激な悪化が予測されるが、疲弊する中小事業者への支援策は、②非正規雇用が多いひとり親の所得減少世帯に対する、生活状況を把握した上での本市独自の支援は、③長期休業による小・中学生の学習格差が心配される。読書活動やネット依存など、家庭学習に結び付く生活習慣チェック

をい、業務での活用を目指すとともに新しいSociety5.0の社会にしっかりと対応できるように、先進自治体の事例や導入による効果などの情報収集を進めていきたい。

要望 諸課題解決の道具として非常に有効であると思うので、先端技術の積極的な活用で、先進自治体となることを目指してほしい。



Society5.0イメージ図(内閣府作成)



無所属 伊藤 大輔

戸川土地画整理事業はルールを明確にせよ

一 財政について

問 予算編成にはビジョンが必要。市長は秦野市をどうしたいのか。

答 市政に対する意見は十人十色。市政運営では最大公約的にさまざまな事業を展開する。

意見 全ての人のいい顔をする必要はない。財源は昔と違って限られているので、トップとしてビジョンを明確に示すべきである。



現地では依然として反対者の看板が掲げられている

二 戸川土地画整理事業について

問 やめたいと言っている人をやめさせないということは、民主主義的なプロセスとしてはあり得ない。この事業から抜けられなくなるタイミング、法的な強制力が発

生するタイミングはいつか。

答 現在は準備組合という段階であり、法的な強制力はない。タイミングとしては、本同意の時に土地画整理法第18条の3分の2以上の同意が取れ、その後、土地画整理組合が設立された時。

意見 この事業、引き返したくても引き返せない事情が既にあり。反対の人だけを区域から除外すると、この事業自体が成立しなくなる。また、既に1億円もの税金をこの事業に投資している。1年前、戸川住みよいまちづくりを考えると、約2500人も署名付き陳情書を提出。しかし、議会運営委員会では議員配付にとどめるという判断を下した。その理由を知ろうにも当時の会議録には何も残っていない。



リニューアルしたエンディングノート(第2弾)

議長公務(6月~8月)

議長の主な公務についてお知らせします。公務日程については、市議会ホームページでも公開しています。 今井 実 議長

- 6月 21日(日) はだの丹沢クライミングパークオープニングセレモニー
- 7月 13日(月) 横浜市新市会議事堂視察
- 8月 3日(月) 全国市議会議長会第140回国会对策委員会
- 6日(木) 第73回秦野たばこ祭第2回実行委員会
- 7日(金) 令和2年度秦野市戦没者追悼平和祈念式典
- 9日(日) 夏休み子ども議場見学会

議長車を更新しました(7月8日~)

更新時期を迎えた議長車を燃費や車体価格を抑え、環境に配慮したハイブリッド車に更新しました。

用語解説 ※RPA…Robotic Process Automation(ロボティック・プロセス・オートメーション)のことで、これまで人間が行ってきた定型なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化する取り組み

会派の表記について …「自民党・新政クラブ」は、略称として「自民・新政」と表記しています。